

## II. 事業の概要

### 1 関西学院大学の教育研究の概要

#### 入学試験の状況 (2023年度入学試験)

(単位:名)

	一般入試					各種入試				合計			
	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	複合格者数(内数)	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
神学部	20	171	165	71	5	10	16	16	12	30	187	181	83
文学部	479	5,115	5,019	2,136	0	291	467	466	396	770	5,582	5,485	2,532
社会学部	400	4,134	4,076	1,470	165	250	365	364	336	650	4,499	4,440	1,806
法学部	420	4,152	4,050	1,929	121	260	380	379	348	680	4,532	4,429	2,277
経済学部	387	4,650	4,549	2,046	148	293	333	332	316	680	4,983	4,881	2,362
商学部	370	3,957	3,891	1,453	35	280	428	428	355	650	4,385	4,319	1,808
人間福祉学部	198	1,737	1,710	632	43	102	223	222	161	300	1,960	1,932	793
国際学部	135	1,342	1,322	301	30	165	393	387	256	300	1,735	1,709	557
教育学部	209	2,397	2,355	1,226	0	141	186	182	164	350	2,583	2,537	1,390
総合政策学部	285	3,752	3,631	1,409	68	210	453	452	239	495	4,205	4,083	1,648
理学部	113	2,739	2,695	1,296	36	67	95	95	77	180	2,834	2,790	1,373
工学部	166	4,208	4,107	1,713	155	99	210	210	137	265	4,418	4,317	1,850
生命環境学部	144	3,184	3,135	1,595	132	84	178	177	138	228	3,362	3,312	1,733
建築学部	80	2,199	2,135	804	97	52	66	66	53	132	2,265	2,201	857
合計	3,406	43,737	42,840	18,081	1,035	2,304	3,793	3,776	2,988	5,710	47,530	46,616	21,069

\*一般入試：一般入試(全学部日程・学部個別日程・共通テスト併用日程・英数日程)、大学入学共通テストを利用する入試  
 \*各種入試：一般入試以外の入試  
 \*募集人員：各種入試の若干名は含まない

#### 学位授与者数(卒業生数)

(単位:名)

	2022年度	累計
学士学位授与者数	5,227	245,227
修士学位授与者数	348	10,883
博士学位授与者数	21	1,195
専門職学位授与者数	166	3,350
合計	5,762	260,655

\*1991年6月以前の大学(学部)卒業生数は、学士学位授与者数に含む

#### 卒業後の進路状況(学部)

##### ●就職率(2022年度)



##### ●就職・大学院進学状況(推移)

(単位:名)

	進路	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		就職	民間企業 266	4,152	4,563	4,281
進学	官公庁	198	284	332	322	276
	教員	23	185	207	226	204
	上記以外	303	37	58	61	55
	自大学院	82	344	327	370	327
	他大学院	11	87	118	113	119
	その他	374	11	24	20	21
合計		5,409	410	556	524	459
合計		5,409	5,921	5,903	5,577	5,227

詳しくは右記のURLをご覧ください。 <https://www.kwansei.ac.jp/about/disclosure/career/>

#### 国際交流の状況

##### ●国際交流協定締結先機関(2023年3月)

国・地域名	アメリカ	カナダ	メキシコ	コロンビア	ブラジル	アイスランド	イギリス	イタリア	オーストラリア	クロアチア	スウェーデン	スペイン	チェコ共和国	デンマーク	ノルウェー	ハンガリー	フランス	ベルギー	ポーランド	ラトビア	リトアニア	ロシア	インドネシア	韓国	カンボジア	シンガポール	タイ	中国	中国(香港)	中国(マカオ)	ネパール	インドネシア	東ティモール	フィリピン	ベトナム	マレーシア	ミャンマー	モリシャス	トルコ	日本	アジア全般	ニュージーランド	オーストラリア	国連	日	合計							
計	52	15	1	2	1	2	3	1	1	17	7	2	5	1	3	4	5	3	3	15	2	1	2	13	2	3	1	2	1	1	3	7	19	1	2	3	7	13	14	2	1	2	1	1	1	1	1	16	3	3	6	1	297

詳しくは右記のURLをご覧ください。 <https://ciec.kwansei.ac.jp/>

#### 3つの方針(アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー)

関西学院大学では学部・研究科ごとに3つの方針を設定しております。

詳しくは右記のURLをご覧ください。 [https://www.kwansei.ac.jp/about/dca\\_policy/](https://www.kwansei.ac.jp/about/dca_policy/)

2 学生・生徒等の納付金 (2022年度)

● 関西学院大学

(単位：円)

学部	入学年度	学年	授業料	入学金	実験実習費	教育充実費	合計
文系A	2022	1	728,000	200,000	*	182,000	1,110,000
文系B			898,000	200,000	*	218,000	1,316,000
文系C			983,000	200,000	*	235,000	1,418,000
文系D			859,000	200,000	23,000	209,000	1,291,000
総合政策			986,000	200,000	45,000	235,000	1,466,000
理系			1,117,000	200,000	99,000	266,000	1,682,000
文系A	2021	2	898,000	—	*	212,000	1,110,000
文系B			1,062,000	—	*	254,000	1,316,000
文系C			1,143,000	—	*	275,000	1,418,000
文系D			1,025,000	—	52,000	243,000	1,320,000
総合政策			1,146,000	—	*	275,000	1,421,000
理系			1,273,000	—	99,000	310,000	1,682,000
文系A	2020	3	893,000	—	*	212,000	1,105,000
文系B			1,055,000	—	*	254,000	1,309,000
文系C			1,136,000	—	*	275,000	1,411,000
文系D			1,018,000	—	52,000	243,000	1,313,000
総合政策			1,138,000	—	*	275,000	1,413,000
理工			1,258,000	—	106,000	310,000	1,674,000
文系A	2019	4	804,000	—	*	212,000	1,016,000
文系B			965,000	—	*	254,000	1,219,000
文系C			1,045,000	—	*	275,000	1,320,000
文系D			922,000	—	52,000	243,000	1,217,000
総合政策			1,047,000	—	*	275,000	1,322,000
理工			1,177,000	—	106,000	310,000	1,593,000

※文系A：神・文(総合心理科学科を除く)・社会・法・経済・商学部、文系B：人間福祉学部、  
文系C：教育・国際学部、文系D：文学部総合心理科学科  
理系：理学部、工学部、生命環境学部、建築学部  
※学部、学科、専修、履修プログラムによって別途実験実習費が必要

● 関西学院高等部・関西学院中学部・関西学院千里国際高等部・  
関西学院千里国際中等部・関西学院初等部

(単位：円)

学校	入学年度	学年	授業料	入学金	教育充実費	教育資料費	冷暖房費	合計
関西学院高等部	2022	1	635,000	200,000	249,000	—	—	1,084,000
	2021	2	635,000	—	249,000	—	—	884,000
	2020	3	635,000	—	249,000	—	—	884,000
	2022	1	635,000	200,000	249,000	—	—	1,084,000
関西学院中学部	2021	2	635,000	—	249,000	—	—	884,000
	2020	3	635,000	—	249,000	—	—	884,000
	2022	1	1,070,000	300,000	170,000	—	—	1,540,000
関西学院千里国際高等部	2021	2	1,070,000	—	170,000	—	—	1,240,000
	2020	3	1,070,000	—	170,000	—	—	1,240,000
	2022	1	1,070,000	300,000	170,000	—	—	1,540,000
関西学院千里国際中等部	2021	2	1,070,000	—	170,000	—	—	1,240,000
	2020	3	1,070,000	—	170,000	—	—	1,240,000
	2022	1	800,000	200,000	200,000	—	—	1,200,000
関西学院初等部	2021	2	800,000	—	200,000	—	—	1,000,000
	2020	3	800,000	—	200,000	—	—	1,000,000
	2019	4	800,000	—	200,000	—	—	1,000,000
	2018	5	800,000	—	200,000	—	—	1,000,000
	2017	6	800,000	—	200,000	—	—	1,000,000

※関西学院千里国際高等部・関西学院千里国際中等部は、第2外国語授業科目、  
インターナショナルバカロレアディプロマプログラムを選択する者は、上記のほか別途必要

● 関西学院大阪インターナショナルスクール

(単位：円)

	入学金	授業料	教育充実費	合計
幼児部 (短縮授業)	330,000	1,607,000	210,000	2,147,000
幼児部 (平常授業)	330,000	1,796,000	235,000	2,361,000
小学部	330,000	1,796,000	235,000	2,361,000
中等部及び高等部1・2年	330,000	2,148,000	275,000	2,753,000
高等部3・4年	330,000	2,255,000	275,000	2,860,000
ポストグラジュエイト	330,000	2,255,000	275,000	2,860,000

\*学年暦は8月開始

● 関西学院大学大学院 博士課程前期課程

(単位：円)

研究科	入学年度	学年	授業料	入学金	研究資料費	実験実習費	教育充実費	合計		
文系A (神・文(総合心理科学専攻心理科学領域を除く)・ 社会・法・経済・商・言語コミュニケーション文化研究科)	2022	1	530,000	200,000	—	*	159,000	889,000		
文系B (人間福祉研究科、国際学研究科)			635,000	200,000	—	*	191,000	1,026,000		
文系C (教育学研究科)			687,000	200,000	—	—	207,000	1,094,000		
文系D (文学研究科総合心理科学専攻心理科学領域)			607,000	200,000	—	52,000	182,000	1,041,000		
総合政策			687,000	200,000	—	*	207,000	1,094,000		
理工			715,000	200,000	—	87,000	208,000	1,210,000		
文系A (神・文(総合心理科学専攻心理科学領域を除く)・ 社会・法・経済・商・言語コミュニケーション文化研究科)			2021	2	530,000	—	—	*	159,000	689,000
文系B (人間福祉研究科、国際学研究科)					635,000	—	—	*	191,000	826,000
文系C (教育学研究科)					687,000	—	—	—	207,000	894,000
文系D (文学研究科総合心理科学専攻心理科学領域)					607,000	—	—	52,000	182,000	841,000
総合政策	687,000	—			—	*	207,000	894,000		
理工	715,000	—			—	87,000	208,000	1,010,000		

※特定の授業科目等、履修プログラムによって別途実験実習費が必要

● 関西学院大学大学院 博士課程後期課程

(単位：円)

研究科	入学年度	学年	授業料	入学金	研究資料費	実験実習費	教育充実費	合計
全研究科	全	全	432,000	200,000	—	*	131,000	763,000

※社会学研究科で特定の授業科目を履修する者は実験実習費が必要

● 関西学院大学大学院 専門職学位課程

(単位：円)

研究科・専攻	入学年度	学年	授業料	入学金	研究資料費	実験実習費	教育充実費	合計	
司法	2022	1	1,055,000	200,000	—	—	225,000	1,480,000	
	2021	2	1,145,000	—	—	—	225,000	1,370,000	
	2020	3	1,145,000	—	—	—	225,000	1,370,000	
経営戦略	企業経営戦略コース	2022	1	770,000	200,000	—	*	225,000	1,195,000
		2021	2	770,000	—	—	—	225,000	995,000
	国際経営コース	2022	1	1,440,000	200,000	—	—	225,000	1,865,000
		2021	2	1,440,000	—	—	—	225,000	1,665,000
会計専門職	2022	1	1,140,000	200,000	—	—	225,000	1,565,000	
	2021	2	1,140,000	—	—	—	225,000	1,365,000	

※中小企業診断士養成プログラムに所属する者は実験実習費が必要

● 聖和短期大学

(単位：円)

入学年度	学年	授業料	入学金	研究資料費	実験実習費	教育充実費	合計
2022	1	856,000	200,000	—	10,000	235,000	1,301,000
2021	2	1,016,000	—	—	10,000	275,000	1,301,000

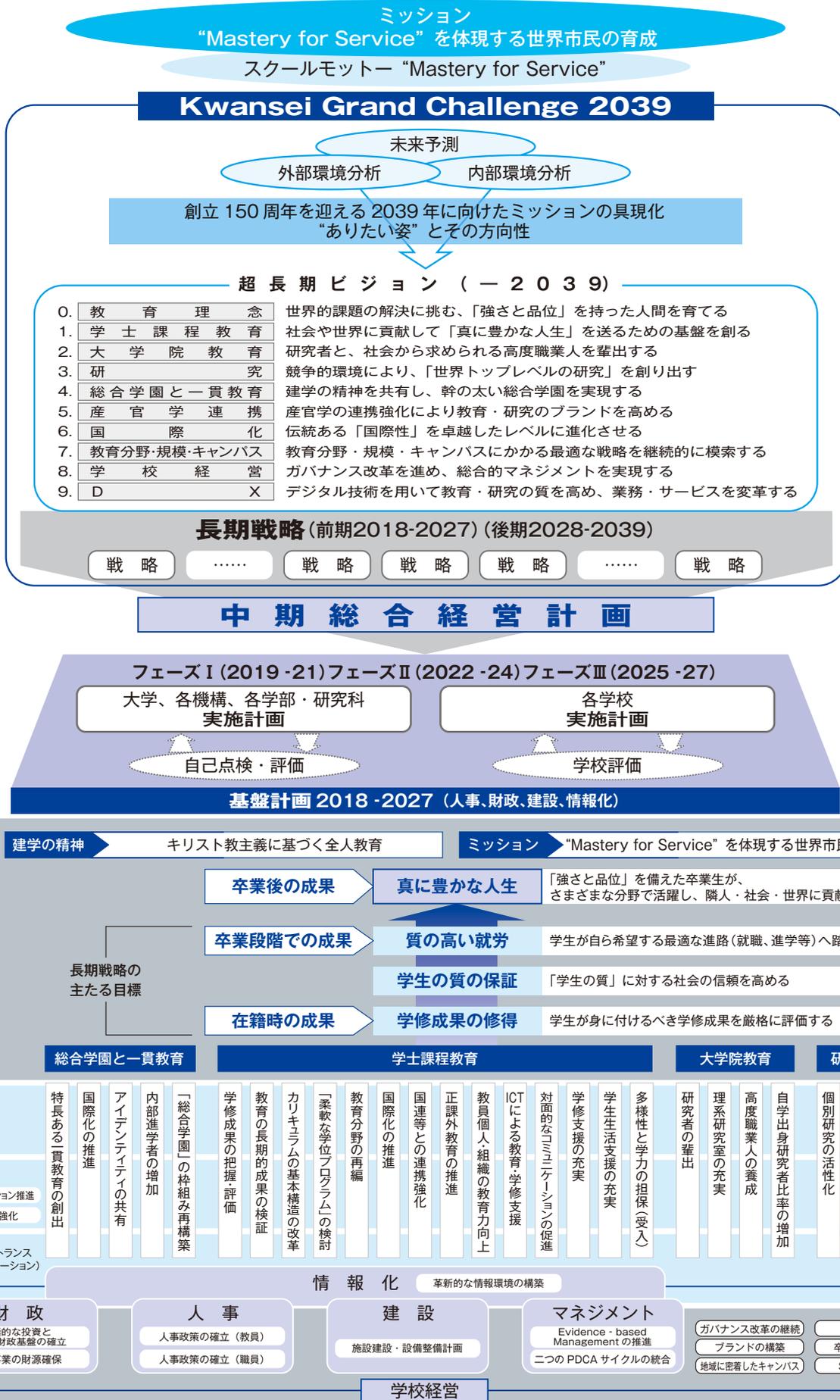
● 関西学院幼稚園

(単位：円)

	保育料	入園料	教育充実費	教材費	冷暖房費	合計
3歳児	336,000	100,000	50,000	24,000	8,000	518,000
4歳児	312,000	100,000	50,000	24,000	8,000	494,000
5歳児	312,000	100,000	50,000	24,000	8,000	494,000

3 中期的な計画及び事業の進捗状況

●全体像



## ● 2022年度の主たる事業計画

## ①教育研究関連事業

(単位：千円)

事業計画	概要	決算額
国際関連事業	<p>文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」(SGU)に採択された本学の事業「国際性豊かな学術交流の母港『グローバル・アカデミック・ポート』の構築」は事業開始から9年目を迎えました。本事業は、海外大学や国際機関とのパートナーシップを軸とした質の高い国際化を進めることで、日本の“Top Global University”となることをめざしています。</p> <p>今年度は、本構想の主軸となる「ダブルチャレンジ制度(学生が所属学部や主専攻の学び「ホームチャレンジ」に挑戦し、世界で活躍するためのキーコンピテンシーを身に付けるために「アウェイチャレンジ」を課す本学独自の教育システム)」において、「アウェイチャレンジ」の充実に努めました。「インターナショナルプログラム」では、コロナ禍で停滞していた海外派遣プログラムの全面再開に向け、安全管理体制や経済支援制度を全学的に整備し、コロナ禍で留学機会を逸した学生の留学への機運を高め、学生派遣を推進しました。「ハンズオン・ラーニング・プログラム」については、国内派遣先の拡充とともに、地域連携や高大連携の取組を強化することで、プログラムの維持・向上に力を入れました。</p> <p>①協定に基づく海外派遣学生数日本一の実現に向けて(学生の海外派遣)</p> <p>「海外協定大学への学生派遣日本一」を再び達成することをめざし、安全管理面に配慮しながら、円滑に派遣プログラムの再開が実現できるよう全学で取り組みました。新型コロナウイルス感染症によって派遣プログラムを中止した場合の支援制度をはじめ、急激な円安やインフレ、航空運賃の上昇などで悩む学生への経済支援として緊急留学支援金の支給を決定するなど、学生の留学を後押ししました。結果として1,300名を超える学生が海外派遣プログラムに参加しました。また、前年度に引き続き、COILやVEと呼ばれるオンラインを活用した国際共修プログラムに加え、通常の授業内で海外協定大学等と共修するオンライン交流授業の拡充も図り、キャンパスにいながらにして海外の留学生と交流できる実践的な国際教育の機会を充実しました。</p> <p>②海外協定大学を中心とした受入留学生の拡大</p> <p>2022年度秋学期より対面での受入れを全面的に再開し、海外協定大学からの交換学生は約180名、短期プログラムでは60名を超える学生を受入れました。コロナ禍で停滞していた学生の渡航が徐々に回復し、外国人留学生の実受入については、2022年度は約1,150名となりました。また、関学生と留学生が共に学ぶ「融合」科目の拡大に継続して取り組んだほか、国際教育寮「有光寮」では、RA(レジデント・アシスタント)学生が中心となり、寮での国際交流イベントや国際教育プログラム等を実施しました。今後も、正課内外問わず、関学生と留学生が“融合”し、キャンパスの「内なる国際化」を推進します。</p> <p>③国連・国際機関等へのゲートウェイを通じた成果</p> <p>高大接続～学部教育～修士レベルでの教育に加え、修了生に向けて長期的なキャリア形成をサポートする「通貫したゲートウェイ」を構築しています。大学院副専攻「国連・外交コース」では、2022年度第5期生として6名が修了し、2023年3月末時点で累計39名の修了者を送り出しました。学部副専攻「国連・外交プログラム」から早期卒業を経て、「国連・外交コース」に進学する学生も累計4名となり、一貫的な教育スキームの完成は本構想の着実な成果です。</p> <p>④英語教育の充実</p> <p>2022年度は質の高い国際化の基盤として、英語教育を引き続き強化しました。また、2017年度から導入している習熟度別教育の成果検証を実施し、英語教育強化の取組をより一層推進する方針を確認しました。また、中長期の留学に挑戦する学生の支援を目的とし、留学に必要な外部試験のスコア対策プログラム等の充実、英語学習のe-learningアカウントの無償提供を継続する等、英語学習機会の一層の充実を図りました。</p> <p>【関連する長期戦略テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際化の推進</li> <li>・国連・国際機関との連携強化</li> <li>・学生生活支援の充実(寮)</li> </ul>	1,091,604

<p>就職支援・キャリア教育関連事業</p>	<p>2022年度は、企業の採用意欲が回復傾向にあり、学生の内定状況は前年度を上回りました。学内企業セミナー(参加企業数238社、参加学生数867人)はオンライン中心で実施し、進路調査に基づく求人紹介等を行いました。大学3年生・M1年生対象のキャリア・就職支援は、キャリアガイダンス(参加者3,251人)を中心にオンラインで開催したほか、インターンシップ関連セミナー(1,656人)や学内企業セミナー(6,188人)など各種プログラムを実施しました。特にオンライン先輩訪問会は、21社の卒業生が毎週土曜日に学生相談に応じ、延べ479人が参加しました。学生の不安や悩みに応える個人面談やカウンター相談は、対面とオンラインを併用し、年間で23,106件ののぼりしました。また、3,694件の電話相談に応えました。</p> <p>本学におけるキャリア教育を再構築し、学業への動機づけや自己のキャリア形成に必要な価値観の気づきを促すことを目的とした低年次生向けの e-learning 基盤科目として「KGキャリア入門」を新設しました。今年度は10,711人の学生が履修し、多くの学生に低年次から将来のキャリアを考える機会を与えることができました。</p> <p>【関連する長期戦略テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「質の高い就労」の実現</li> </ul>	<p>138,059</p>
<p>学部教育改革関連事業</p>	<p>本学では「学生の質の保証」を目標に掲げており、すべての学生が卒業段階で学部の区別なく共通で身に付けておくべき知識・能力・資質「Kwansei コンピテンシー」を定め、それらを修得するための全学共通の枠組みの構築を進めています。</p> <p>「文理を問わず AI・データサイエンス関連の知識を持ち、その知識を活用して現実の諸問題を解決できる能力を有する人材」を育成する「AI 活用人材育成科目(全10科目)」の充実を図るため、2022年度までに4科目を e-learning 化し、プログラム全体で年間延べ8,400名超の学生が履修しました。また、e-learning 化した科目を企業・他大学・官公庁に加え、同窓生など個人にも対象を広げ、リカレント教材として活用しています。さらに、文部科学省委託事業「DX 等成長分野を中心とした就職・転職支援のためのリカレント教育推進事業(II. DX 分野等リスキルプログラムの開発・実施)」に採択され、社会人に向けた実践的な学びの機会として「AI アプリを活用した課題解決型演習」を開講しました。</p> <p>また、論理的思考力等汎用的能力の基礎となる文章表現力を身に付けるための授業科目を開講するとともに、「ライティングセンター」において、対面及びオンラインでの個別指導を実施しました。2022年度の個別指導は延べ813回(前年度比41.7%増)利用され、利用学生の満足度は5段階評価で4.8と高い評価を得ています。</p> <p>各学部でもカリキュラム改革が進んでいます。法学部では新たに改編されたコース制(特修、司法・ビジネス、公共政策、グローバル法政、法政社会歴史)プログラムの学びを提供しています。商学部では2022年度より、「デジタル×ビジネス」、「グローバル×ビジネス」をテーマとしたカリキュラムをスタートし、各専門領域に沿った特長的な PBL(Project-Based-Learning: 問題解決型学習) 科目を開講しています。さらに経済学部では2023年度より「課題解決型データ分析プログラム」が始動し、入門から発展まで段階別の授業を通して社会課題を発見し、データ分析によって解決策を探り、提言できる能力を育みます。</p> <p>【関連する長期戦略テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムの基本構造の改革</li> <li>・学修支援の充実</li> <li>・学部教育改革施策の立案(学生規模)</li> </ul>	<p>228,104</p>

<p>教育再編 (神戸三田キャンパス) 関連事業</p>	<p>2021年4月に新設した理系4学部(理学部、工学部、生命環境学部、建築学部)と総合政策学部)に再編された神戸三田キャンパス(KSC)をさらに活性化させ、学生、教職員が国境、文系理系、学問分野、大学と社会など様々な境界を飛び越える「Borderless Innovator」として活躍するキャンパスの実現をめざした取り組みを進めています。</p> <p>今年度は、2022年8月に竣工したⅧ号館の屋上に設置された天体望遠鏡を活用して、近隣の小中高生も体験できるイベントを2023年度から開始するべく、理学部物理・宇宙学科の学生が準備を進めました。</p> <p>スノーピークとの包括連携協定に基づく「Camping Campus」の取組においては、「1 Day キャンプ」や1泊2日の宿泊プログラムなどを実施し、計128名の学生が参加しました。また、理系学生のビジネスマインド醸成を目的として、学生と企業との接点となる「BiZCLASS」を実施したほか、アントレプレナー養成プログラム「Kwansei Gakuin STARTUP ACADEMY」をKSCで初開講するなど、学生の起業を後押ししました。</p> <p>サステナブルキャンパスとして、SDGsの推進にも取り組んでおり、スノーピークと共同開発したオリジナル・マイボトル持参者には「BiZCAFE」で飲料を無料提供しており、2022年度は約8万8千本のペットボトルの削減につながりました。</p> <p>【関連する長期戦略テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育分野の再編</li> <li>・神戸三田キャンパス(KSC)の競争力強化</li> <li>・SDGsの推進(KSC 分野)</li> </ul>	<p>62,708</p>
<p>正課外教育の推進</p>	<p>2021年度に関西学院大学競技スポーツ局(KGAD)が設立され、今年度は新たに6競技8チームが加盟し、現在は体育会学生本部と20競技27チームの構成となっています。また、KGAD 内に発足した学生チームとして学生企画広報部に加え、Academic Eligibility 制度に抵触した体育会学生の学習面をサポートする修学支援部も活動がスタートしており、今後は競技上の安全面をサポートするトレーナー部の組織化に向けて動いています。競技部に所属するアスリートやスタッフ以外にも KGAD で関学スポーツを盛り上げたいという学生が KGAD の活動に参加し、競技活動だけではなく、競技スポーツと関連する活動を通して、様々な側面から正課外教育に取り組んでいます。また、企業からパートナーとして KGAD を支援したいという申し出を徐々にいただけるようになり、選手の栄養面や身体面、就職面のサポートについて連携が計画されています。</p> <p>【関連する長期戦略テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正課外教育の推進</li> </ul>	<p>237,534</p>
<p>情報環境整備・運用 及び情報教育関連経費</p>	<p>ICTを最大限活用し、学生の学びをより効果的に成果へと結びつける環境整備に継続して取り組みました。教育の質を保証するためのツールである「LMS(ラーニング・マネジメント・システム)」や「ポートフォリオ」を活用することにより、学修記録や成果の可視化を行い、学生の「振り返り」を促進しました。ネットワークについては学術情報基盤 SINET5から SINET6へ接続を移行し、より高度な学術コミュニケーションが図られるようになりました。大学の授業が原則、対面となったことに伴う学内無線 LAN の混雑を解消するための増強も実施しました。また、2021年夏から稼働した学生・教職員を対象としたポータルシステム「kwic」を安定的に運用しました。お知らせや各種システムの窓口を統合し、各種の冊子や申請書類をデジタル化するなど、利用者の利便性を向上させ、教育活動の活性化に寄与しました。</p> <p>オンライン授業やオンライン会議を引き続き実施するため、ZOOMとMS Teamsを安定的に提供しました。ICTに関する学生・教職員向けのサポートは、チャットボットや問い合わせフォーム、電話やメールといった様々な窓口を提供しつつ、各キャンパス・サポート拠点での対面対応も実施し、充実を図りました。</p> <p>【関連する長期戦略テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTによる教育・学修支援</li> <li>・革新的な情報環境の構築</li> </ul>	<p>1,344,228</p>

<p>支給奨学金関連経費</p>	<p>経済的理由で本学への入学を躊躇する学生のため、受験前に採用候補者となる「ランバス支給奨学金」、学力・人物ともに優秀で学資の援助を必要とする学生を支援する「就学奨励奨学金」「経済支援奨学金」、学業成績優秀者の勉学支援を目的とした「産学合同育英奨学金」「ベーツ特別支給奨学金」、文化・芸術・スポーツ・社会貢献活動等で活躍した学生を称える「クレセント奨学金」「奨励奨学金」、災害等による家計急変者を対象とした「特別支給奨学金」「後援会奨学金」など、多彩な支給奨学金を設け経済的支援にあたっています。特に「ランバス支給奨学金」は近畿圏外からの入学者に対し初年度のみ20万円を付加しました。</p> <p>海外へ留学する学生には、各種留学プログラムへ積極的に参加できるよう「交換留学奨学金」「中期留学奨学金」「短期留学奨学金」「井谷憲次奨学金」「笹森四郎奨学金」等に加え、大学院副専攻「国連・外交コース」履修者を対象とした「国連・外交インターンシップ奨学金」を支給しました。また、コロナ禍で留学機会を逸した学生を支援するため、2019年度から2021年度に入学した学部生を対象に、1学期以上の留学プログラムに参加し、それにより標準修業年限を超えた場合に納付する学費を補う「海外留学特別奨学金」を新設しました。さらに、急激な円安やインフレ、原油高に伴う燃油サーチャージの上昇等、学生の留学を取り巻く状況変化に対応することを目的に、2022年度と2023年度に実施される海外派遣プログラムに参加する学部生を対象とした緊急経済支援策の実施を決定。2022年度は1,369名の学生に「緊急留学支援金」を支給しました。</p> <p>【関連する長期戦略テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生生活支援の充実(奨学金)</li> </ul>	<p>2,244,337</p>
<p>研究活性化事業</p>	<p>企業や公共機関などとの受託・共同研究を推進することにより、本学の研究の活性化を図り、その研究成果を社会に還元することで大学の社会的使命を果たしています。2022年度は33件の受託研究と82件の学外共同研究を実施しました。</p> <p>多様化・多層化する産官学連携活動の様態の変化、また新型コロナウイルス感染症の拡大による影響も勘案しながら、本学教員が先端的研究に取り組み、知の創造や社会への貢献によって大学全体の研究力が高められるよう環境整備を進めています。また、研究創発センターを中心に、研究に関する情報収集、研究力分析、戦略検討・立案や産学連携及び補助金申請の支援等を行いました。</p> <p>【関連する長期戦略テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別研究の活性化</li> <li>・研究ブランドの確立</li> </ul>	<p>1,218,277</p>
<p>図書関連費用</p>	<p>教育研究、学習活動において必要とされる図書・資料の整備・充実を図り、教育・研究の発展に寄与しました。大学図書館の登録図書・資料冊数は2022年度末時点で約250万冊となりました。</p>	<p>920,941</p>
<p>新型コロナウイルス感染症緊急支援</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大が長期化する中で、経済的に困窮している学生・生徒等を支援するため、前年度に引き続き、「特別支給2022奨学金」及び「関学ヘックス(HECS)型貸与奨学金」、「聖和短大ヘックス(HECS)型貸与奨学金」を設けました。「特別支給2022奨学金」は163名の学生・生徒に支給しました。</p> <p>「関学ヘックス(HECS)型貸与奨学金」及び「聖和短大ヘックス(HECS)型貸与奨学金」は、コロナ禍によって本人のアルバイト収入などが減少し、学生生活が困難な状況に陥った学生の援助を目的とした貸与奨学金で、132名の学生に貸与しました。この奨学金は卒業後に返還を求めますが、一定の収入に達するまで手続きにより返還を猶予します。</p> <p>その他、PCR 検査費の補助等を実施しました。</p>	<p>211,215</p>

## ②教育研究環境を支える施設設備の整備・充実

(単位：千円)

事業計画	概要	決算額
西宮上ヶ原キャンパス 整備工事	西宮上ヶ原キャンパスの教育研究環境の機能性・利便性向上やアメニティの向上を目的として、新棟建設や建物改修、経年劣化した建物の建て替え等、大規模なキャンパス整備工事を年次計画で実施しています。この計画には教育研究の様々な機能を移転・集約することによって、学生動線の改善を図る目的も含まれています。2022年度は全学共用棟の解体を完了し、教員の研究室等を備えた建物(J号館)の建設に着手しました(2024年2月供用開始予定)。 (総事業費約132億円)	601,451
神戸三田キャンパス 整備工事	2021年4月に神戸三田キャンパスの学部を再編し、理系4学部(理学部・工学部・生命環境学部・建築学部)を新設しました。これにより、神戸三田キャンパスは総合政策学部と新設4学部を合わせた5学部体制となり、学部再編に伴う施設設備の整備を進めています。2022年度は望遠鏡ドームや教室、レンタルオフィス、神戸三田キャンパス5学部の統合事務室等を備えた新棟(Ⅷ号館)を建設し、2022年8月より供用を開始しました。また、建築学部の学年進行に合わせた製図室の整備やレンタルラボの整備等を実施しました。 (総事業費58億円)	2,393,973
神戸三田キャンパス インキュベーション施設・学生寮複合施設 建設工事	神戸三田キャンパス近隣に学生寮を併設したインキュベーション施設の建設を予定しています(2025年1月供用開始予定)。インキュベーション施設創設により、本学の学生・教員だけでなく、県内の企業・大学、地域住民らに開かれた実証フィールドを提供し、起業を志向する学生やビジネスパーソンを総合的に支援します。2022年度は土地の購入及び施設の設計を実施しました。	442,742
千里国際キャンパス 整備工事	年次計画で千里国際キャンパス施設設備の改修工事を実施しています。2022年度は校舎3階の教室拡張などの改修工事及び什器の更新を行いました。 (総事業費10億円)	245,704
AV設備更新工事	大学の講義室に配備しているプロジェクター等のAV設備を順次更新しています。2022年度は西宮上ヶ原キャンパスB号館の2教室、神戸三田キャンパスIV号館の1教室のAV設備を更新しました。	23,263
教室改修工事	大学の講義室・演習室における、アクティブラーニングを推進するため、授業内容に応じて柔軟にレイアウト変更ができる教室に改修します。2022年度は西宮上ヶ原キャンパスG号館の3教室、西宮聖和キャンパス5号館の3教室を改修しました。	24,919
グラウンド整備工事	グラウンドの整備工事を順次実施しています。2022年度は西宮上ヶ原キャンパス第2フィールドの陸上トラックの一部改修、準硬式野球場の人工芝の補修・バックネットの張替え、第3フィールドの馬術場の補修を行いました。	50,842
ネットワークインフラ 整備工事	大学においてBYOD(Bring Your Own Device)を推奨するために、無線LANによるネットワーク高密度化教室を約50教室設置します。2022年度は通信回線の増速に必要な配線工事、アクセスポイントなどの機器の追加、ネットワークの構築を実施しました。ネットワーク環境の安全性を高めるとともに、無線LANを含むネットワーク機器及び回線の増強等を実施し、利便性の向上を図りました。	83,311
大規模設備更新・改修 工事	各建物に設置している熱源・空調設備、監視システム等の大規模設備が故障した場合、教育研究に与える影響は大きく、安全性確保の観点からも問題があるため、計画的に更新・改修工事を実施しています。2022年度は西宮上ヶ原キャンパス大学図書館の熱源・中央監視設備の更新工事、啓明寮のトイレ・シャワーを含む給排水設備の更新工事、神戸三田キャンパスIV号館の空調更新工事等を行いました。	426,105

空調設備更新工事	年次計画で経年劣化したヒートポンプエアコンを更新し、省エネ化を図ることによりSDGsの推進に寄与します。2022年度は西宮上ヶ原キャンパス第1教授研究館(新館)・学生会館旧館・ハミル館・関西学院会館、神戸三田キャンパスI号館、西宮聖和キャンパス個人研究室、千里国際キャンパス校舎3階等の空調設備を更新しました。	99,956
体育施設照明LED化工事	年次計画でグラウンドの照明器具を消費電力の高い水銀灯からLEDに変更し、省エネ化を進めています。2022年度は西宮上ヶ原キャンパス第2フィールド(陸上トラック)及び第4フィールド(サッカー場・テニスコート)の照明器具を改修しました。	71,688
照明器具改修工事	年次計画で照明器具のLED化及び廊下や階段等への人感センサーの設置を実施し、省エネ化を進めています。2022年度は西宮上ヶ原キャンパス第1教授研究館(新館)、時計台、メディア研究棟、ハミル館、高等部教室、中学部特別教室棟、関西学院会館、第3フィールドクラブ関連施設、西宮聖和キャンパス7号館食堂、8号館、図書館、大学院棟、セミナーハウス、同窓会館を改修しました。	95,165
トイレ環境整備工事	年次計画で経年劣化したトイレの床・壁面の張替、照明更新、荷物置き用面台新設等の美装及び設備充実を図っています。2022年度は神戸三田キャンパスIV号館、西宮聖和キャンパス図書館、千里国際キャンパス校舎のトイレを改修しました。	199,870